

【報告事項】

I. 2020 年度推進活動総括

2020 年度は、コロナ禍により平時の推進委員会活動(会議・イベント)が十分に展開できなかったものの、対面による「ろうきん運動」の推進と、非対面による「組合員のサービス向上」に係る取組みを進めました。

また、連合北海道・北海道労働者福祉協議会からの要請により、北海道ろうきん「新型コロナウイルス関連特別融資」が新設されたことから、福祉向上キャンペーンと連動した周知活動を展開しました。

さらには、ろうきんと連携し、組合員のニーズに応えるべく「非対面チャネルの充実」や「ろうきん News の発行」「組合員専用サイトの開設」等、組合員の生活に資する取組みを展開しました。

1. 新型コロナウイルス感染症の諸情勢をふまえた取組み

(1) 「新型コロナウイルス関連特別融資」の周知活動

新型コロナウイルス感染症による社会的・経済的影響を勘案し、北海道ろうきんが勤労者セーフティネット機能を発揮すべく、2020 年 4 月 1 日より当該融資制度の取扱いを開始したことから、積極的な周知活動を展開しました。

新型コロナウイルス関連特別融資【2020 年度】			
【融資件数】	183 件	【融資金額】	5,159 万円

(2) WEB 完結型ローンの推進

北海道ろうきんは、2020 年 10 月 1 日より、インターネットで申込みから契約まで完結できる「WEB 完結型教育ローン」「WEB 完結型フリーローン」の取扱いを開始したことから、各種商品の積極的な周知活動を展開しました。

商品名	融資件数	融資金額
WEB 完結型轟ローン	149 件	2 億 3,787 万円
WEB 完結型教育ローン	15 件	1,983 万円
WEB 完結型フリーローン	4 件	255 万円
WEB 完結型マイプラン	217 件	1 億 4,446 万円

(3) 「ろうきん News」「組合員専用サイト」の活用

① ろうきん News の発行

ろうきんと連携し、2020 年度は合計 46 回のニュースを全道の 452 会員（メール：393 会員、FAX：59 会員）へ発信し、必要な情報をタイムリーに届ける活動を展開しました。特徴的なニュースについては、以下のとおりです。

No	特徴的なニュース
1	感染拡大防止に向けたご協力をお願い（その1～その3）
2	非対面による金融サービスの紹介（その1～その9）
3	組合員様専用ページの運用開始について
4	ろうきん SDGs に関する取組みについて

② 組合員専用サイトの周知活動

2020年11月2日より、北海道ろうきんホームページ内に「組合員専用サイト」が開設されました。当該サイトには、ア. ろうきん News、イ. 機関紙用データ、ウ. WEB アンケート BOX（※）が掲載・設置されていることから、会員組合員の利用者拡大に繋げるため、周知活動を展開しました。

※ スマートフォン・パソコンにて、WEB 上で回答可能なアンケート。4つのBOX【① ライフプランの設計（新入組合員・若年層組合員向け）、②高金利ローンからの借換、③各種ローン相談、④資産運用（投信・iDeCo）】から構成されている。

【ID : rokin2020】	【パスワード : 2020start】
------------------	---------------------

2. 「2020年度つなぐプロジェクト」推進運動

(1) 取組結果【資料1】

コロナ禍により、会員・組合員と一体となった「会員自主目標推進運動」を見送りましたが、2020年度は「つなぐプロジェクト」の対象項目に「北海道ろうきん ATM 利用件数」が追加されました。

取組みを進めた結果、同プロジェクト対象項目の新規取引実績は43,701件（下表①）、「北海道ろうきん ATM 利用件数」は1,524,457件（下表②）となり、利用実績に応じた福祉団体への寄付額は5,894千円（前年同期比+395千円）となりました。

① 対象項目実績 （単位：件、%）

No	項目	年間目標	年間実績	達成率
1	メイン化（給振・年金・公振・クレジット）	18,300	19,815	108.3
2	預金（財形・エース・お子さま口座）	8,525	6,293	73.8
3	融資（団体融資・手形貸付等除く）	16,402	16,296	99.4
4	預かり資産（個人型DC新規・投信契約者増加数・国債新規）	3,684	1,297	35.2
	合計	46,911	43,701	93.2

② 北海道ろうきん ATM 利用件数

項目	件数
北海道ろうきん ATM 利用件数（2020年度より追加）	1,524,457 件

※ 北海道ろうきん ATM にて入金・出金（ローンカード含む）1回につき1円を寄付。

(2) 本支店・出張所推進委員会表彰

表彰推進委員会は、34推進委員会のうち、以下の10推進委員会となりました。

順位	推進委員会名	表彰金	表彰理由
1位	① 芦別出張所	5万円	達成率1位

2位以下	②稚内支店、③赤平出張所、④北見支店、 ⑤旭川支店、⑥室蘭連合支店、⑦函館支店、 ⑧釧路支店、⑨苫小牧支店、⑩帯広支店	1万円	達成率100%超 ※達成率順
------	---	-----	-------------------

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2019年度取組みに係る推進委員会表彰は見送ったため、2019年度および2020年度の表彰金は、当該推進委員会に地域活動費として支出します。(6月頃予定)

(3) 地元のNPO団体等への寄付

① 「つなぐプロジェクト」対象項目の利用実績に応じた各地域への福祉団体への寄付額は5,894千円となりました。

② よって、ご利用実績に応じた各推進委員会の寄付額は、174,000円となりました。
※[計算式]5,894,557円÷34本支店・出張所推進委員会=173,369円÷174,000円(百円以下切り上げ)

	2020年度の利用実績に応じた寄付額
金庫全体	5,894,557円
各店・出張所推進委員会	174,000円

③ 2021年度は、北海道ろうきん創立70周年に係る記念事業により、上記②の「各店・出張所推進委員会」寄付額(174,000円)を2倍とし、寄付先の拡大を図ります。

3. 可処分所得向上運動

他行高金利ローン・奨学金の借換運動、低利なカードローン(マイプラン)の保有・活用運動を展開した結果、可処分所得向上額は710百万円(前年同期比△251百万円)となりました。

4. 職域活動費の有効活用【資料2参照】

(1) コロナ禍を考慮し、WEB学習会での職域活動費の活用を認めました。

(2) 会員による職域活動費を活用した学習会は207回、延べ4,345名の出席となり、主に、「新人説明会」「若年層説明会」「住宅ローン等商品説明会」「奨学金問題(借換)に関する学習会」を目的とした活用となりました。

(3) 取組みの結果、職域活動費の活用金額は6,324,821円となりました。

5. 「2020年度生活応援運動」の展開

(1) 生活設計運動の取組み

① ろうきんアプリ・エコ通帳推進運動

残高・入出金明細照会、かんたん通帳(Money Forward)、ろうきんホームページへのリンクなど、いつでもどこでも確認できる「ろうきんアプリ」推進運動と、通帳記帳・繰越の必要がない「エコ通帳」推進運動を展開しました。

ろうきんアプリ契約累計件数
【契約件数】18,686件 / 【累計契約件数(2019年10月22日～2021年3月末)】31,473件

エコ通帳 [通帳不発行型の普通預金口座] 【2020 年度】

【新規件数】 3,022 件 (前年同期比+2,836 件)

② 退職金結集運動【資料 4 参照】

「産別からの退職者情報提供 (8 産別)」「全開発・JP 労組・北教組における機関会議での取組方針化」「説明会・セミナー開催 (12 会員・122 名)」など、会員・推進機構による主体的な運動を展開しました。

退職金結集金額 【2020 年度】

【運動目標】 97 億 62 百万円 【運動成果】 182 億 27 百万円 (目標対比+84 億 65 百万)

③ 資産形成運動

ア. 「2020 “人生 100 年時代” 未来設計スタートキャンペーン」の展開

組合員の資産形成運動として、当該キャンペーンの周知活動を展開しました。

※ キャンペーン対象商品：「年金財形」または「iDeCo」または「投資信託定時定額買付(つみたてNISA 含む)」の新規契約 (適用条件有)

対象商品新規件数 【2020 年度】

財形新規件数：3,258 件 / iDeCo 新規件数：378 件 /

投資信託定時定額買付(つみたてNISA 含む)：366 件

イ. 「投資信託・国債」の推進

学習会等を通して、組合員や退職者の多様なニーズに合致した資産形成の取組みを展開しました。

投資信託・国債新規件数 【2020 年度】

投資信託新規件数：1,106 件 / 国債新規件数：491 件

(2) 生活改善運動の取組み【資料 5 参照】

① 住宅ローン推進運動

「住きっと!500」等の周知活動により、有担保ローン新規目標額を大きく上回る成果となりました。

有担保ローン新規目標額 【2020 年度】

【目標】 685 億円 【実績】 699 億円 (目標対比+14 億円)

② 可処分所得向上運動

組合員の可処分所得向上に繋げる運動を展開しました。

可処分所得向上額 【2020 年度】

【実績】 7 億 10 百万円

可処分所得向上運動に関する学習会開催実績 【2020 年度】

【実績】 133 件 / 2,769 名

③ 非正規雇用組合員取引拡大運動

「全力応援 pack キャンペーン」の周知活動を行いました。

全力応援 pack (非正規勤労者向け融資商品) 新規件数 【2020 年度】

【実績】 635 件 (前年同期比△169 件)

④ 奨学金借換ローン周知運動

社会問題化している奨学金問題に対し、勤労者のセーフティネットとして、更なる役割発揮を図る観点から、積極的な周知活動を展開しました。

奨学金借換ローン新規実績【2020年度】
【実績】 50件／1億23百万円（前年同期比△25件・△47百万円）
奨学金借換ローン累計実績
【実績】 384件／9億28百万円（集計期間：2017年10月1日～2021年3月31日）

(3) 生活防衛運動の取組み

① 多重債務防止運動（学習会・研修会の開催）【資料6参照】

多重債務に関する学習会を開催するなかで、組合員の生活防衛に資する取組みを展開しました。

生活防衛運動に関する学習会開催回数【2020年度】
【開催回数】 87件 【参加組合員数】 1,748人

② 多重債務救済運動（相談機能の発揮）

「お客様相談室」「各店・出張所多重債務相談員」と連携し、多重債務に陥った組合員の相談対応を行いました。

多重債務相談【2020年度】
【多重債務相談件数】 20件（前年同期比+2件）

6. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

(1) 本支店・出張所と連携した友の会加入者拡大の取組みの結果、新規加入会員は69名（前年同期比△260名）、総会員数は13,422名（前年同期比△421名）となりました。

(2) 北海道退職者連合と連携した「年金口座移管運動」の取組みの結果、契約件数は26,030件（前年同期比+383件）となりました。

【協議事項】

I. 2021 年度推進活動方針（案）

コロナ禍をふまえた対応として、北海道ろうきんと連携のうえ、「新型コロナウイルス関連特別融資」や「各種支援メニュー」の周知活動等、組合員の生活に資する活動を展開します。

また、連合北海道・2020 生活アンケートの結果をふまえた、「組合員と家族に直接届ける教宣活動」や「つなぐプロジェクトの強化」を通じて、ろうきんメインバンク No. 1 への取組みを進めます。

さらに、北海道ろうきん創立 70 周年記念事業による、地域活動費（イベント費）増額に係るコロナ禍に充分配慮したイベント開催や、多くの組合員が集える支店独自キャンペーンの展開、「奨学金借換ローンの金利引下げ」や「奨学金借換+αローン」等の記念事業と連動した取組みにより、「ろうきん運動」を間断なく進めます。

<重点取組項目>

1. 連合北海道・2020 生活アンケートをふまえた「メインバンク No. 1」への取組み

(1) 「家庭に届ける」ろうきん周知活動の展開

- ① 連合北海道・2020 生活アンケート結果から、北海道労働金庫（以下、当庫）の認知度・利用度は、高水準とは言えない実態にあり、またコロナ禍により、北海道ろうきんからの「会員組合員への周知活動」が充分ではない現状にあります。
- ② 全道推進会議としては、自主福祉運動の原点である「組合員に直接届ける運動」が今まさに必要と考えます。
- ③ 以上のことから、組合員個人の家庭に、「便利で魅力的なろうきんを知ってもらうツール（チラシ）」を届ける取組みを展開します。

(2) つなぐプロジェクト強化の取組み

- ① 全道推進会議として、コロナ禍ならではの取組みに関する「独自の重点取組項目」を設定します。
- ② 重点取組項目は以下の内容とします。

1. 給与振込	4. 住宅ローン	7. 教育ローン
2. 財形貯蓄	5. こくみん共済 coop 火災共済	8. その他
3. ろうきんアプリ	6. 轟ローン	

- ③ 地域の特性に合った取組みを集約し、「パイロット推進委員会」としての好事例を共有化することで、各店推進委員会の更なる活性化を目指します。

<つなぐプロジェクト推進運動 ～会員自主目標推進運動の取組深化～>

1. 「つなぐプロジェクト」における「件数目標」と「会員自主目標」の連動を強化し、①営業店毎の件数目標（会員・生協・未組織）と達成率の見える化、②「本支店・出張所推進委員会」の表彰、③地元の NPO 法人等への寄付により、「ろうきん運動の更なる活性化」と「社会貢献活動の認知拡大」を図る取組みに積極的に係わります。
2. 自主目標推進運動は、「2021 年度つなぐプロジェクト×自主目標推進運動：推進シ

ート」を活用し、自主目標設定・達成に向けた取組みを展開します。

3. 地元の NPO 法人等への寄付先は、本支店・出張所推進委員会にて、選定に向けた対応を実施します。
4. 2021 年度は、北海道ろうきん創立 70 周年記念事業に係る対応として、「2020 年度つなぐプロジェクトの取組みに係る寄付額」を 2 倍とし、各店推進委員会が選定する寄付先の拡大を図ります。

2. 「組合員専用サイト」の活用

- (1) 本サイトには、①ろうきん News、②機関紙用データ、③WEB アンケート BOX が掲載・設置されており、会員組合員の利用者拡大に繋げることを目的にしています。
- (2) 本サイトは、会員の役員・組合員個人も利用することができるプラットフォームになっていることから、積極的に周知活動を展開します。

3. 北海道ろうきん主催「WEB フォトコンテスト」の開催

- (1) 全道の組合員とその家族(友の会含む)が広く参加できる、北海道ろうきん主催「WEB フォトコンテスト」に参画します。
※WEB での写真だけではなく、紙印刷した写真での提出も可能。
- (2) 以下のジャンルの写真を「全道の組合員とその家族」から投稿してもらい、それぞれのジャンルで受賞者を選定する取組みとなります。
【①北海道の風景写真、②家族写真、③ペットの写真】
- (3) 詳細については、別途報告します。

<共通取組項目>

1. 可処分所得向上運動の取組み

- (1) 連合の進める「クラシノソコアゲ」実現のために、「銀行カードローン問題への対応(当庫マイプランの保有・活用)」「他行高金利ローン借換(クレジットカードのリボ払い含む)」によって、組合員の可処分所得向上に資する運動を展開します。
- (2) 協同組合組織や福祉事業団体との連帯により、資金循環の環を広げます。
- (3) 2021 年度取組指針として、「可処分所得向上額 10 億円以上」を目指します。

2. 2021 年度職域活動費の効果的な活用

WEB 会議での職域活動費活用が可能となっているため、WEB 会議へのろうきん担当者の参加に取組みます。

(1) 2021 年度職域活動費

- ① 年度予算 3,000 万円
- ② 組合員 1 人当たり活用上限 2,000 円

(2) WEB 会議での活用例

- ① 会員が主催する WEB 会議において、各接続拠点(労組・支部単位等)の「会場・設備」に係る費用の助成。
- ② WEB 会議開催の際に、接続拠点ごとに提供する「弁当代・懇親会」に係る費用の助成。

3. 推進機構活性化運動の展開

- (1) 職場での「ろうきん運動」浸透に向け、①運動の基盤拡大（大会議案書への掲載、組合機関紙への商品・サービス掲載）、②「ナショナルセンター」「労福協」「青年・女性委員会」との連携、③本支店・出張所推進委員会の更なる活性化（本支店・出張所推進委員会総会[地区推進委員会含む]の出席率向上、イベント・キャンペーンの展開）に取り組めます。
- (2) 北海道ろうきんの創立70周年記念事業により、地域活動費（イベント費）が1推進委員会につき30万円増額となることから、各種イベント・キャンペーンの実施により、効果的に活用します。

<活用イメージ>～下記①②の単独・複数使用可～

- ① 対面参加型イベントは、コロナ禍に充分配慮した開催（分散実施・時間短縮）となるよう、各店推進委員会にて検討願います。
- ② 支店推進委員会独自キャンペーンは、多くの組合員が参画できるようなキャンペーンの実施を検討願います。

4. 「2021年度生活応援運動の展開」

(1) 生活設計運動の取組み

① ろうきんアプリ・エコ通帳推進運動

残高・入出金明細照会、かんたん通帳（Money Forward）、住所変更、ろうきんホームページへのリンクなど、いつでもどこでも確認できる「ろうきんアプリ」推進運動と、通帳記帳・繰越の必要がない「エコ通帳」推進運動を展開します。

② 退職金結集運動

組合役員帯同オルグの実施や、退職後の資産形成にかかわる学習会の開催等について、継続して取組みます。

③ 季節キャンペーン結集運動

ろうきん運動の原点である夏季・冬季一時金の預入について、サマーキャンペーン・ウインターキャンペーンと連動した取組みを実施します。

④ 資産形成運動

ア. 「2021“人生100年時代”未来設計スタートキャンペーン」の推進

組合員の資産形成に寄与する取組みとして、昨年度に引き続き「2021“人生100年時代”未来設計スタートキャンペーン」を展開します。

イ. 「投資信託・国債」の推進

組合員や退職者の多様なニーズに合致した資産形成の取組みを展開します。

(2) 生活改善運動の取組み ～重点運動項目の推進～

全道推進会議・重点運動項目

- ① 住宅ローン推進運動
- ② マイプランを中心とした可処分所得向上運動の取組み
- ③ 非正規雇用組合員の取引拡大に向けた「全力応援 pack」の推進
- ④ 「奨学金借換ローンの金利引下げ」「奨学金借換+αローン」周知活動

(3) 生活防衛運動の取組み

① 多重債務防止運動（学習会・研修会の開催）

マネートラブルや多重債務から会員・組合員を守るための運動として、継続的な学習会・セミナー等の開催に取り組めます。

② 新型コロナウイルス感染症による影響により、多重債務に陥る勤労者の増加が想定されるため、収入減少等の影響を受けている会員・顧客を中心に、北海道ろうきんの「商品」や「支援メニュー」の周知活動を展開します。

③ 多重債務に陥った組合員の相談は、北海道ろうきんの「お客様相談室」「本支店・出張所多重債務相談員」と連携し、対応します。

お客様相談室（相談員 1 名常駐）	
<フリーダイヤル>	0120-380-931
<住所>	札幌市中央区北 1 条西 5 丁目 3-10 本館 1F コンサルティングプラザ内

5. 北海道ろうきん創立 70 周年記念事業

(1) 北海道ろうきんは、2021 年 5 月 19 日に創立 70 周年を迎えます。

(2) 北海道ろうきんでは、創立 70 周年記念に係る取組みとして以下の施策を実施します。

- ① 「2020 年度つなぐプロジェクトに係る寄付」の寄付先拡充
- ② 「奨学金借換ローンの金利引下げ」および「奨学金借換+αローン」の取扱開始
- ③ 金融教育教材（動画・ワークシート）の作成
- ④ 記念キャンペーンの実施

(3) 組合員の生活向上に資するキャンペーンであることから、積極的な周知活動を展開し、会員組合員の利用者拡大に繋がります。

6. ブロック別研修会の開催見送り

(1) 本研修会は、ろうきん運動の担い手となる会員中堅役員ならびに青年女性層組合員を対象に、「ろうきん運動をすすめる意義」の理解を深める貴重な機会と位置づけ、意見交換や学習の場として開催しています。

(2) しかしながら、札幌から 10 名以上の事務局が各ブロックを訪問すること、また各地域からの参加者の宿泊を前提とした会議招集や懇親会の開催は、現下の状況から、感染リスクを回避できないことから、2021 年度のブロック別研修会の開催は見送ります。

(3) ブロック別研修会の中止に伴い、WEB にて全道の組合員とその家族が広く参加できる北海道ろうきん主催「WEB フォトコンテスト」に参画します。

7. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

生涯取引の観点から、「ろうきん友の会」への加入を積極的に働きかけるとともに、つなぐプロジェクトと連動する「年金受取口座移管運動」に取り組めます。

IV. 「会員労組を経由する組合員との取引」に関する留意事項

V. 役員の変更

< 退任役員 >

役職	氏名	所 属
副議長	根本 武志	北海道労働者福祉協議会参与

※ 敬称は省略させていただきます。

VI. 今後の日程

開催日時 (予定)	会議名	開催方法
2021年6月21日(月) 15時	第1回全道推進会議	WEB 会議

以上